

平成25年6月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成25年2月15日

会社名 株式会社 武井工業所
 コード番号 5286

上場取引所等 フェニックス銘柄
 本社所在地都道府県 茨城県

(URL <http://www.takei21.co.jp>)

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 厚
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大内 哲朗 TEL (0299) 24-5216
 取締役会決議日 平成25年2月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	2,185	(32.1)	76	(-)	51	(-)
24年6月期第2四半期	1,654	(△ 10.6)	△ 70	(-)	△ 101	(-)

	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益		自己資本 四半期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
		円	銭	円	銭			
25年6月期第2四半期	44 (-)	12	49	-	-	4.4	1.2	2.4
24年6月期第2四半期	△ 104 (-)	△ 29	61	-	-	△ 11.8	△ 2.3	△ 6.1

- (注) ① 持分法投資損益 25年6月期第2四半期 - 百万円 24年6月期第2四半期 - 百万円
 ② 有価証券の評価損益 - 百万円 デリバティブ取引の評価損益 - 百万円
 ③ 期中平均株式数 25年6月期第2四半期 3,536,656 株 24年6月期第2四半期 3,536,656 株
 ④ 会計処理の方法の変更 有 ・ (無)
 ⑤ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
25年6月期第2四半期	4,359		1,031		23.7		291 70	
24年6月期第2四半期	4,316		832		19.3		235 26	

- (注) ① 期末発行済株式数 25年6月期第2四半期 3,542,000 株 24年6月期第2四半期 3,542,000 株
 ② 期末自己株式数 25年6月期第2四半期 5,344 株 24年6月期第2四半期 5,344 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
25年6月期第2四半期	151		△ 19		△ 82		212	
24年6月期第2四半期	△ 90		△ 35		198		200	

2. 平成25年6月期の業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

通 期	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金					
				中 間		期 末			
				円	銭		円	銭	
	4,500	137	134	-	-	2	50	2	50

(参考) 1株当たり予想当期純利益 (通期) 37円 89銭

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改定に伴う変更 : 無
 - ② ①以外の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 25年6月期第2四半期 | 3,542,000 株 | 24年6月期 | 3,542,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 25年6月期第2四半期 | 5,344 株 | 24年6月期 | 5,344 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) | 25年6月期第2四半期 | 3,536,656 株 | 24年6月期第2四半期 | 3,536,656 株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定期的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、復興需要に下支えされ企業活動の回復の兆しが見えてきたものの、欧州の財政不安の長期化、顕在化した中国リスク等により依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社の属する建設業界におきましては、震災復興関連予算の執行に伴い公共投資が増加したものの、労務費高騰の影響や建設技能労働者の人手不足が深刻化するなど、依然として混沌とした経営環境が続いております。

このような経営環境のなか当社は、前期より続く復旧工事需要に製造・販売ともに精力的に対応してまいりました。さらに、今後本格化する大型復旧工事案件や大型宅地造成工事において当社オリジナル製品が使用されることが第3四半期以降に見込まれるため、第2四半期中はオリジナル製品への傾斜生産を実施して必要在庫の確保に努めてまいりました。これにより、汎用規格製品の生産は抑制いたしましたので、これらの製品は主に同業他社からの仕入品の販売にて対応いたしました。

その結果、売上高は21億8千5百万円(前年同期比32.1%増)、営業利益7千6百万円(前年同期は7千万円の営業損失)、経常利益5千1百万円(前年同期は1億1百万円の経常損失)、四半期純利益4千4百万円(前年同期は1億4百万円の四半期純損失)となりました。

なお、品種別の売上高は下記のとおりであります。

区分	品 目	前 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (自 平 成 23 年 7 月 1 日 至 平 成 23 年 12 月 31 日)		当 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (自 平 成 24 年 7 月 1 日 至 平 成 24 年 12 月 31 日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
製 品	道 路 用 製 品	296,623	17.9	342,683	15.7
	水 路 用 製 品	647,347	39.1	757,021	34.6
	擁壁・土止め用製品	179,344	10.8	191,553	8.8
	法面保護用製品	8,214	0.5	77,943	3.6
	そ の 他	35,487	2.1	83,582	3.8
	小 計	1,167,017	70.5	1,452,784	66.5
商 品	コンクリート二次製品	409,883	24.8	629,889	28.8
	そ の 他	77,664	4.7	102,455	4.7
	小 計	487,547	29.5	732,344	33.5
	合 計	1,654,565	100.0	2,185,129	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べて9千5百万円増加し、43億5千9百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べて1億8百万円増加し、19億1千3百万円となりました。これは主に「受取手形」が3千万円減少したものの、「現金及び預金」4千9百万円、「売掛金」1千7百万円及びたな卸資産である「商品及び製品」が8千万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べて1千2百万円減少し、24億4千6百万円となりました。これは主に有形固定資産及びリース資産の「減価償却費」4千7百万円を計上したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べて5千5百万円増加し、33億2千8百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べて4千1百万円増加し、22億5千4百万円となりました。これは主に「1年内返済予定の長期借入金」7千2百万円及び「未払消費税等」が1千7百万円減少したものの、「支払手形」1千1百万円、「買掛金」9千7百万円及び「未払金」が1千4百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べて1千3百万円増加し、10億7千3百万円となりました。これは主に「長期借入金」が9百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比べて4千万円増加し、10億3千1百万円となりました。

これは第57期の配当支払5百万円がりましたが、四半期純利益4千4百万円を計上したことにより、「利益剰余金」が3千8百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の23.2%から23.7%となり、当第2四半期会計期間末発行済株式数に基づく1株当たり純資産額は前事業年度末の280円26銭から291円70銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加1億5千1百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの減少1千9百万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少8千2百万円により、前事業年度末に比べて4千9百万円増加し、当第2四半期会計期間末残高は2億1千2百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における営業活動の結果増加した資金は、1億5千1百万円(前年同四半期は9千万円の減少)となりました。これは主にたな卸資産の減少が7千7百万円あったものの、税引前四半期純利益を5千1百万円計上したことに加え、減価償却費4千7百万円及び仕入債務の増加が1億9百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における投資活動の結果減少した資金は、1千9百万円(前年同四半期は3千5百万円の減少)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入が1億2千4百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出1千2百万円及び定期預金の預入による支出が1億2千4百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における財務活動の結果減少した資金は、8千2百万円(前年同四半期は1億9千8百万円の増加)となりました。これは主に長期借入れによる収入が2億円あったものの、長期借入金の返済による支出2億6千3百万円及びリース債務の返済による支出が1千3百万円あったこと等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績につきましては、本日(平成25年2月15日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照して下さい。

なお、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	182,508	232,506
受取手形	342,940	312,477
売掛金	683,758	701,451
商品及び製品	500,198	580,492
原材料及び貯蔵品	85,385	82,965
前払費用	17,644	13,429
その他	5,164	2,177
貸倒引当金	△ 12,126	△ 11,791
流動資産合計	1,805,474	1,913,707
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	350,144	338,162
構築物(純額)	142,533	136,119
機械及び装置(純額)	104,797	99,575
車輛運搬具(純額)	289	289
工具、器具及び備品(純額)	81,496	83,417
土地	1,605,433	1,605,433
リース資産(純額)	73,713	73,621
有形固定資産合計	2,358,408	2,336,619
無形固定資産	4,572	4,572
投資その他の資産	95,565	104,812
固定資産合計	2,458,545	2,446,004
資産合計	4,264,020	4,359,712

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	141,182	152,272
買掛金	207,957	305,918
短期借入金	1,180,000	1,180,000
1年内返済予定の長期借入金	379,816	306,976
リース債務	26,238	27,150
未払金	201,858	216,584
未払法人税等	5,086	10,586
未払消費税等	29,878	12,692
預り金	16,149	20,399
賞与引当金	20,000	19,200
その他	4,914	2,854
流動負債合計	2,213,083	2,254,633
固定負債		
長期借入金	895,210	904,622
退職給付引当金	103,120	107,407
リース債務	53,090	52,136
繰延税金負債	431	1,303
資産除去債務	7,900	7,975
固定負債合計	1,059,752	1,073,445
負債合計	3,272,836	3,328,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金	389,632	389,632
利益剰余金	79,912	118,771
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	990,755	1,029,614
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	428	2,019
評価・換算差額等合計	428	2,019
純資産合計	991,184	1,031,633
負債純資産合計	4,264,020	4,359,712

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	1,654,565	2,185,129
売上原価	1,253,994	1,618,682
売上総利益	400,570	566,447
販売費及び一般管理費	471,350	490,032
営業利益又は営業損失(△)	△ 70,779	76,414
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	124	107
その他営業外収益	6,567	4,120
営業外収益合計	6,691	4,228
営業外費用		
支払利息割引料	33,002	29,087
その他営業外費用	4,216	140
営業外費用合計	37,218	29,227
経常利益又は経常損失(△)	△ 101,306	51,415
特別損失		
固定資産除却損	42	176
固定資産売却損	1,129	—
投資有価証券評価損	1,388	—
特別損失合計	2,559	176
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△ 103,865	51,239
法人税、住民税及び事業税	844	7,076
法人税等合計	844	7,076
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 104,710	44,163

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△ 103,865	51,239
減価償却費	47,358	47,292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,461	△ 1,512
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△ 800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	740	4,287
受取利息及び受取配当金	△ 124	△ 107
支払利息	33,002	29,087
有形固定資産除却損益(△は益)	42	176
投資有価証券評価損益(△は益)	1,388	—
有形固定資産売却損益(△は益)	1,129	—
売上債権の増減額(△は増加)	34,991	△ 2,595
割引手形の増減額(△は減少)	△ 83,258	16,544
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 101,806	△ 77,873
仕入債務の増減額(△は減少)	61,133	109,050
その他資産・負債の増減額	53,529	8,626
小計	△ 47,277	183,414
利息及び配当金の受取額	124	107
利息の支払額	△ 31,753	△ 29,960
災害損失の支払額	△ 9,692	—
法人税等の支払額	△ 1,681	△ 1,966
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 90,281	151,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△ 239	△ 240
有形固定資産の売却による収入	11,061	—
有形固定資産の取得による支出	△ 25,873	△ 12,841
定期預金の払戻による収入	32,000	124,000
定期預金の預入による支出	△ 46,000	△ 124,000
保険積立金の積立による支出	△ 6,223	△ 6,223
その他投資の増減額	△ 716	△ 288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 35,991	△ 19,593
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	—
長期借入れによる収入	150,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△ 188,044	△ 263,428
リース債務の返済による支出	△ 13,625	△ 13,361
配当金の支払額	△ 11	△ 5,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	198,319	△ 82,004
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,046	49,997
現金及び現金同等物の期首残高	128,588	162,508
現金及び現金同等物の四半期末残高	200,634	212,506

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。